

バージョン 10 リリース 0
2016 年 6 月 15 日

IBM Contact Optimization

リリース・ノート

The IBM logo, consisting of the letters "IBM" in a bold, black, sans-serif font. Each letter is composed of horizontal stripes, with the "I" having 7 stripes, the "B" having 8 stripes, and the "M" having 9 stripes.

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、15 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Contact Optimization バージョン 10 リリース 0、モディフィケーション 0、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Version 10 Release 0
June 15, 2016
IBM Contact Optimization Release Notes

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2003, 2016.

目次

| | | | |
|--|----|--|----|
| 第 1 章 システム要件と互換性 | 1 | プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考 慮事項 | 17 |
| 第 2 章 バージョン 10.0 の新機能および 変更点. | 3 | | |
| 第 3 章 修正された問題 | 5 | | |
| 第 4 章 既知の問題 | 7 | | |
| 第 5 章 既知の制限 | 11 | | |
| IBM 技術サポートに連絡する前に. | 13 | | |
| 特記事項 | 15 | | |
| 商標 | 17 | | |

第 1 章 システム要件と互換性

Contact Optimization は、IBM® Marketing Software スイート製品の一部として作動します。Contact Optimization バージョン 10.0 には、IBM Campaign 10.0 が必要です。

このセクションでは、IBM Contact Optimization の今回のリリースについて以下の情報が提供されます。

- システム要件および互換性情報をどこで入手できるか
- サード・パーティーのソフトウェアへのサポートの変更点

Contact Optimization 10.0 に Contact Optimization バージョン 8.6.0、9.0.0、9.1.0、9.1.1、または 9.1.2 からアップグレードできます。説明については、「*IBM Contact Optimization アップグレード・ガイド*」を参照してください。

Contact Optimization は 64 ビットのオペレーティング・システムのみをサポートします。

完全なシステム要件と互換性情報が見つかる場所

この製品と互換性のある IBM Marketing Software 製品のバージョンのリストおよびこの製品に対するサード・パーティー要件のリストについては、「推奨されるソフトウェア環境と最小システム要件」という文書を参照してください。この文書は、IBM サポート・ポータル Web サイト (<http://support.ibm.com>) の『詳細なシステム要件 (Detailed System Requirements)』の下に掲載されています。

IBM Marketing Software にログインした後、「ヘルプ」>「製品資料」を選択することによって、この文書にアクセスすることもできます。

第 2 章 バージョン 10.0 の新機能および変更点

Contact Optimization のバージョン 10.0 で以下の新機能および変更が導入されました。

「構成」プロパティのコンテキスト・ヘルプ

「設定」 > 「構成」で構成プロパティを表示すると、「ヘルプ」 > 「このページのヘルプ」を選択してコンテキスト・ヘルプを表示できます。例えば、「キャンペーン | キャッシュ」ページのヘルプを要求すると、すべてのキャッシュ・オプションを具体的に説明するヘルプ・トピックが表示されます。この機能を使用するにはインターネット接続が必要です。

Marketing Platform、Campaign、Interact、および Contact Optimization 用の機能拡張されたユーザー・インターフェース

このリリースでは、使いやすいようにユーザー・インターフェースが更新され、無駄のない現代的なデザインになり、改善されたインライン・テキストとエラー・メッセージが提供されています。外観が変わっても製品の機能は変わりません。最新の資料は「ヘルプ」メニューから入手できます。

リスナー・スクリプトの新規環境変数: STALE_CONN_TIMEOUT

新規環境変数 STALE_CONN_TIMEOUT は、IBM Campaign および Contact Optimization のリスナー・スクリプト・ファイルで使用可能です。リスナー・スクリプト・ファイルは、rc.unica_ac/cmpServer.bat (Campaign の場合) および ACOServer.sh/.bat (Contact Optimization の場合) で、<CAMPAIGN_HOME>、%bin にあります。

STALE_CONN_TIMEOUT 変数の導入により、バックエンド・データベースへの接続を失わずに、長時間実行キャンペーンを継続できます。定義された数秒の間接続がアイドルである場合、接続は再オープンします。例: STALE_CONN_TIMEOUT=<seconds>。この環境変数を追加または変更する場合、リスナーを再開する必要があります。接続が失われた場合、次のデバッグ・メッセージが Campaign フローチャートまたは Contact Optimization サーバー・ログ・ファイルに表示されます: [DB QUERY] 接続が失効しているため、データベース接続を再開しています。

IMS に名前変更された EMM ファイルおよびディレクトリー

「EMM」を含んでいたファイルおよびフォルダーが「IMS」に変更されました。例えば、デフォルトの最上位ディレクトリーは C:%IBM%\IMS、インストーラー名は IBM_Marketing_Software_Installer_10.0.0.0_linux.bin、IBM_Marketing_Software_Installer_10.0.0.0.sh、IBM_Marketing_Software_Installer_10.0.0.0_win.exe になりました。

第 3 章 修正された問題

このセクションでは、IBM Contact Optimization バージョン 10.0 で修正された問題をリストしています。問題は、問題番号、そしてインシデント番号 (当てはまる場合) の順に並んでいます。

| 問題 ID | 説明 |
|-----------|---|
| 問題 7637 | 韓国語および中国語 (簡体字) のユーザー・インターフェースについて、Contact Optimization セッションにおけるいくつかのメッセージのレイアウトと配置に問題があります。 |
| 問題 121703 | マルチバイトのオーディエンス・レベル名を使用すると Contact Optimization セッションの作成は失敗します。マルチバイト文字を使用する非英語言語がオーディエンス・レベル名に使用された場合、Contact Optimization はそのオーディエンス・レベルを含む Contact Optimization セッションを作成することに失敗します。 |
| 問題 206514 | Contact Optimization セッション実行によりクラッシュが発生する場合、スタック・ファイルが生成され、データベースのステータスを更新せずに実行が終了します。 |

第 4 章 既知の問題

このセクションでは、Contact Optimization 10.0 における既知の問題をリストします。

| 問題 | 問題 ID | 説明 |
|--|-----------|---|
| 連絡先リストの最適化中、スコア・マトリックスに手動で入力したスコアが指定されない。 | 問題 194109 | 手動で入力したスコアは、顧客キャパシティー・ルールにおける計算のために指定する必要があります。ただし、顧客キャパシティー・ルールの適用中は PCT 内のスコアが指定され、すべての顧客レコードが最適化されたリストから削除されます。 |
| Campaign Contact Optimization のサマリー・レポートが正しくない。 | 問題 176368 | ルールでオファー・バージョンが使用されている場合、最適化前の数と最適化後の数を対比して表示するレポートで、最適化前のレコード数が常に 1 と報告されます。最適化後の数は正確です。 |
| パスワードの有効期限が切れている場合でも、リスナーがログイン・エラーを示す。 | 問題 175554 | Campaign リスナーおよび Contact Optimization リスナーについては、パスワードの有効期限が切れている場合でも、ユーザーに対してパスワードの有効期限切れのエラーではなく、ログイン失敗のエラーが表示されます。 |
| Campaign を 9.1 にアップグレードした後に、Optimize リスナーを ACOServer.sh から停止できなくなった。 | 問題 81245 | ユーザーは Campaign と Contact Optimization を同時にアップグレードする必要があります。それができない場合は、manager/kill コマンドを使用して、手動で Contact Optimization リスナーを停止する必要があります。 |
| ACCOptAdmin ユーティリティーのエラー・メッセージが非英語のロケールに従って表示されない。 | DEF051284 | 英語以外のロケールで ACCOptAdmin コマンド・ライン・ユーティリティーを実行すると、指定されたロケールに従ったエラー・メッセージは表示されません。エラー・メッセージは英語でのみ表示されます。 |

| 問題 | 問題 ID | 説明 |
|---|-----------|---|
| Campaign リスナーによって使用されるのと同じ非英語ロケールを Contact Optimization リスナーは自動的に使用しない。 | ENH11618 | <p>非英語のロケールを使用してインストールされた Campaign および Contact Optimization のインストール済み環境では、Contact Optimization リスナーは常にインストールされたロケールではなく英語で開始します。</p> <p>この問題を回避するには、Contact Optimization リスナーを開始するために使用したコマンド・ウィンドウまたはバッチ・ファイル (ACOServer.bat または ACOServer.sh) で、set LANG=xx_XX を使用して以下のように設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ブラジル・ポルトガル語 - pt_BR フランス語 - fr_FR ドイツ語 - de_DE イタリア語 - it_IT 日本語 - ja_JP 韓国語 - ko_KR 中国語 (簡体字) - zh_CN スペイン語 - es_ES <p>UNIX システムでは以下のコマンドを使用します。</p> <pre>LANG=xx_XX export LANG</pre> |
| unprocessables_sessionid.csv にオファーを受けた顧客が含まれている可能性がある。 | DEF054841 | 一部のシナリオでは、オファーを受けた少数の顧客が unprocessables_sessionid.csv ファイルに含まれている可能性があります。 |
| 特定の環境ではカスタム・キャパシティー・ルールの最適化の結果が不正確である。 | DEF058362 | <p>以下の基準を満たす顧客は、受け取るオファーが希望していたよりも少なくなる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 顧客の推奨トランザクションが偶数である。 これらの各トランザクションは同じスコアである。 このスコアは低い値である。 |
| いくつかのラベルが、日本語、中国語、および韓国語で正しく表示されません。 | DEF059595 | いくつかの翻訳されたラベルが正しく表示されていません。例えば、スコア行列を手動で編集した場合、テーブルの右側の垂直ラベルは逆さまに表示されます。また、「セグメント内の顧客」を含む最適化ルールの場合、「セグメント」ラベルは 2 行に表示されます。 |
| 「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートで、各カスタム・キャパシティー・ルールによって削除される推奨コンタクト数が不正確に表示される。 | DEF059805 | この Contact Optimization セッションの参加フローチャートに複数のコンタクト日付および異なるチャネルの各顧客に対する複数のオファーが含まれている場合、「オファー・サマリー」レポートでカスタム・キャパシティー・ルールの「このルールにより除外」列には不正確な数が表示されません。 |

| 問題 | 問題 ID | 説明 |
|---------------------------------------|-----------|---|
| オファー・バージョンの照会ビルダーの問題。 | DEF060676 | <p>オファー・バージョンの照会ビルダーに以下の小さい問題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択ボックスのフォーム要素タイプを持つカスタム属性の場合、オファー・バージョンの照会ビルダーは選択ボックスを使用しません。値を手動で入力する必要があります。 • グループ・レベルが削除された場合、サブグループの条件が親の条件に追加されます (逆もまた同様)。 • スtring変数用にすべての算術演算子が表示されていますが、適用されるのは「等しい」と「等しくない」だけです。 • 条件の入力の際に、属性の定義された長さは検証されません。 |
| 日付を含んだオファー・バージョン・ルールは予期した最適化結果を提供しない。 | DEF061554 | <p>日付を含んだオファー・バージョン条件を作成した場合 (例えば、オファー・パラメーター「valid end date」が「12/31/2011」に等しい)、オファー・バージョン条件を含むルールは満たされない場合があります。ただし、それ以外のルールは予期した通りに動作します。</p> |
| 暦年をまたがるルール例外は不正確な結果になる。 | DEF061639 | <p>暦年をまたがる (例えば、2011/07/01 から 2012/06/30) 「最小/最大オファー数」キャパシティー・ルールのルール例外を作成した場合、ルールの例外条件を含むルールは満たされない場合があります。ただし、それ以外のルールは予期した通りに動作します。</p> |

第 5 章 既知の制限

このセクションでは、Contact Optimization 10.0 における既知の制限をリストします。

| 問題 | 番号 | 説明 |
|--|-----------|--|
| 実稼働またはテストのポップアップ・ウィンドウ内の文字列が翻訳されていない。 | 問題 176920 | 英語以外のセットアップにおいて、実稼働またはテストのポップアップ・ウィンドウの文字列が翻訳されていません。 |
| Contact Optimization セッションの稼働状況は不整合のないものでなければならぬ。 | 問題 171288 | Contact Optimization サーバーが異常終了した場合、この不整合が発生します。ClearHistory ボタンをクリックして最後の稼働状況をクリアできます。ただし、これを行うと、個々の Contact Optimization セッションの履歴レポートも削除されます。 |
| 次のデータベース・エラーによって MailList プロセスが失敗する: ORA-00999: INVALID VIEW NAME. | 問題 170951 | UA_SYSTEM_TABLES で UseTempTablePool の値を TRUE から FALSE に変更します。これにより、MailList の実行が正常に終了します。 |
| Contact Optimization が、実行中に開かれる unica_acsvr プロセスを終了しない。 | 問題 164875 | Marketing Platform スケジューラーを使用して Contact Optimization セッションをスケジュール実行する場合、複数の unica_acsvr ログイン・プロセスが表示されます。これらのプロセスは、しばらくすると自動的に終了する可能性があります。 |
| DB2 データベース・ユーザーがシステム・テーブルを変更すると、管理者が同じ名前のインデックスを持っている場合、Contact Optimization セッションが失敗する。 | 問題 155876 | セッションが失敗するのを回避するためには、DB2 データベース管理者がインデックスを削除する必要があります。 |
| Contact Optimization セッションの実行コマンドが最新のリンクに取り込まれた。 | 問題 177376 | 最新のリンクを使用してセッションに移動する場合は、直接 URL を貼り付けてセッションを実行できます。 |
| Contact Optimization レポートで、タイプおよびセグメントごとのオファーが思い通りに印刷されない。 | 問題 102889 | Contact Optimization レポート内のタイプおよびセグメントごとのオファーを印刷している間に以下の問題が見つかりました。 <ol style="list-style-type: none"> 1. サイズを変更しないと、プレビュー・ウィンドウをスクロールできない。 2. 印刷の際、A4 サイズに収まるものしか印刷されない。印刷オプションでは解決できないようである。 |
| 負のスコアは不正確なルールのクレジットの原因となる。 | DEF041400 | 負のスコアを使用した場合、「オファー・フィルタリング・サマリー」レポートのルールのクレジットは正確でない場合があります。 負のスコアを使用したオファーは、最小要件を満たすためにだけに指定されます。 |

| 問題 | 番号 | 説明 |
|--|-----------|---|
| <p>オファ어의割り当てがある TCS にリンクされているセルは Optimize プロセスに表示されない。</p> | DEF061355 | <p>Optimize プロセスが 1 つ以上のセルに接続され、その後アップストリーム・セルがターゲット・セル・スプレッドシートのプロセス (TCS) で定義されているトップダウン・セルにリンクされる場合、TCS に割り当てられているオファ어は Optimize プロセスに自動的に表示されません。TCS にある任意のトップダウン・セルにリンクしてから、それらのセルを Optimize プロセスに接続してください。それ以外の場合、Optimize プロセス内の同じオファ어를手動で割り当てるか、または Optimize プロセスを削除した後に再作成する必要があります。</p> |
| <p>片方向 SSL で AC00ptAdmin ユーティリティーを実行するにはさらにセットアップが必要。</p> | DEF046832 | <p>セキュリティ証明書を登録し、ホスト名およびドメインを指定し、AC00ptAdmin.bat ファイルで SSL_Options を構成しないと、AC00ptAdmin ユーティリティーを片方向 SSL で使用することはできません。</p> |
| <p>unica_acosvr プロセスが停止した場合に最初の試行でセッションを実行することができない</p> | DEF055010 | <p>kill コマンドを使用して unica_acosvr を停止して、次に Contact Optimization セッションを実行しようとした場合、次のエラーで失敗する可能性があります。IBM Optimize サーバー・プロセスで不明な通信障害が発生しました (An unknown communication failure has occurred with the IBM Optimize server process)。</p> <p>回避策 - Contact Optimization セッションを再度実行して正常に完了させてください。</p> |

IBM 技術サポートに連絡する前に

資料を参照しても解決できない問題が発生した場合は、貴社の指定サポート窓口から IBM 技術サポートに問い合わせることができます。問題を効率的に首尾よく確実に解決するために、以下のガイドラインを使用してください。

貴社の指定サポート窓口以外の方は、社内の IBM 管理者にお問い合わせください。

注: 技術サポートは API スクリプトの記述または作成は行いません。API 製品の実装に関する支援については、IBM 専門サービスにお問い合わせください。

収集する情報

IBM 技術サポートに連絡する前に、以下の情報を収集しておいてください。

- 問題の性質についての簡単な説明
- 問題の発生時に表示されるエラー・メッセージの詳細。
- 問題を再現するための詳しい手順。
- 関連するログ・ファイル、セッション・ファイル、構成ファイル、およびデータ・ファイル。
- 「システム情報」の説明に従って入手できる、製品およびシステム環境に関する情報。

システム情報

IBM 技術サポートにお問い合わせいただいた際に、技術サポートではお客様の環境に関する情報をお尋ねすることがあります。

問題が発生してもログインは可能である場合、情報の大部分は「バージョン情報」ページで入手できます。そのページには、ご使用のインストール済み IBM アプリケーションに関する情報が表示されます。

「バージョン情報」ページにアクセスするには、「ヘルプ」>「バージョン情報」を選択してください。「バージョン情報」ページにアクセスできない場合は、アプリケーションのインストール・ディレクトリーにある `version.txt` ファイルを確認してください。

IBM 技術サポートのお問い合わせ先

IBM 技術サポートへのお問い合わせ方法については、「IBM Product Technical Support」の Web サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/open_service_request) を参照してください。

注: サポート要求を入力するには、IBM アカウントを使用してログインする必要があります。このアカウントは、IBM カスタマー番号にリンク済みのアカウントにし

てください。お客様の IBM カスタマー番号とアカウントとの関連付けについて詳しくは、サポート・ポータルの「サポート・リソース」>「ライセンス付きソフトウェア・サポート」を参照してください。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation B1WA LKG1
550 King Street
Littleton, MA 01460-1250
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については検証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願います。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することが

できます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com) は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

プライバシー・ポリシーおよび利用条件に関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。Cookie とは Web サイトからお客様のブラウザに送信できるデータで、お客様のコンピューターを識別するタグとしてそのコンピューターに保存されることがあります。多くの場合、これらの Cookie により個人情報が収集されることはありません。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的な事項をご確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie は無効にできますが、その場合、これらを有効にした場合の機能を活用することはできません。

Cookie およびこれに類するテクノロジーによる個人情報の収集は、各国の適用法令等による制限を受けます。この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、個人情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンド・ユーザーへの通知や同意取得の要求も含まれますがそれらには限られません。

お客様は、IBM の使用にあたり、(1) IBM およびお客様のデータ収集と使用に関する方針へのリンクを含む、お客様の Web サイト利用条件（例えば、プライバシー・ポリシー）への明確なリンクを提供すること、(2) IBM がお客様に代わり閲覧者のコンピューターに、Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置することを通知すること、ならびにこれらのテクノロジーの目的について説明するこ

と、および (3) 法律で求められる範囲において、お客様または IBM が Web サイトへの閲覧者の装置に Cookie およびクリア GIF または Web ビーコンを配置する前に、閲覧者から合意を取り付けること、とします。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』
<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』を参照してください。



Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21